

機能一覽

資産管理	
端末情報管理	<p>エンドユーザー端末から取得した資産情報を一覧で表示します。(以下一例)</p> <p>ハードウェア情報 OS種別 / BIOS情報 / 端末機種情報 / CPU / メモリ / 電源設定 / Internet Explorer情報 ネットワークカード情報(IPアドレス・サブネットマスク・DNS)など プリンター情報(プリンター名・ポート名・ドライバー名) など</p> <p>Microsoft セキュリティ更新プログラム情報 適用済・未適用・適用対象外・適用不可のいずれの状態かを取得し、各合計の台数を表示</p> <p>PCセキュリティ情報 ウイルス駆除製品情報(製品名・パターンファイル・エンジン・パターンファイル日付) ポリシー設定情報(スクリーンセーバー・アカウントポリシー・WSUSサーバー)など</p> <p>OU情報 OUに登録された所属名・姓名・電子メール・事業所・部署など</p> <p>ユーザー情報 アンケートから取得した利用者名・社員番号・設置場所・電話番号・内線番号・メールアドレス・所属グループ</p> <p>PalletControl情報 インストールされているPalletControlの情報(PalletControlバージョン・接続先のPalletControl Server情報・AD連携状況)など</p> <p>デバイス制御情報 デバイス制御の設定情報(デバイス制御設定名・設定更新日・個体識別制御設定の最終更新日)</p>
スマートデバイス管理台帳	<p>管理対象のスマートデバイスの資産情報を一覧表示する台帳です。</p> <p>【機種名・OSの種類・利用者の情報(利用者名・社員番号)・電話番号・機器の関連情報(設置場所・契約番号など)】 スマートデバイス単位で詳細情報(モデル・ネットワークモード・ファームウェアバージョンなど)を確認することができます。 管理対象のスマートデバイスに対し、リモートロック・リモートワイプを行うことができます。</p>
ソフトウェア管理台帳	<p>エンドユーザー端末にインストールされているソフトウェア情報を一覧表示する台帳です。</p> <p>【インストールされているソフトウェアの名前・インストール数・ソフトウェア種別・バージョン・エディション・ベンダー名・Webページなど】 ソフトウェアを選択し、端末毎にインストール状況・発行元・インストール日・サイズ・バージョンなどを確認することができます。 ソフトウェア辞書情報(ソフトウェア名・ソフトウェア種別・バージョン・エディション・ベンダー名・Webページ)を表示することができます。</p>
ソフトウェア詳細管理台帳	<p>ライセンス管理をするためのソフトウェア情報を一覧表示する台帳です。</p> <p>【ソフトウェアグループ名・(Microsoft Office)プロダクトID・(管理グループ割当て用)管理グループ名(インストール端末割当て用)管理名・ライセンス情報など】 ソフトウェア管理台帳の機能に加えて、 ライセンス管理体系にあわせてソフトウェアをグループ化したり、ソフトウェアに管理グループやインストール端末を割り当てたりすることができます。</p>

資産管理	
ライセンス登録	ソフトウェアに関する以下のライセンス情報の登録を行います。 【ライセンス名・言語・ライセンス種別・ライセンス単位・ライセンス数の管理有無・対象ソフトウェア・契約情報・部材情報など】 ライセンス管理対象のソフトウェア情報や契約情報、部材情報を関連づけてライセンス情報を登録することができます。
ライセンス管理台帳	ソフトウェアに関する以下のライセンス情報を登録・管理する台帳です。 【ライセンス名・管理グループ・言語・ライセンス種別・ライセンス単位・ライセンス数の管理・保有ライセンス数・使用済みライセンス数・ライセンス残数など】 登録された保有ライセンス数と使用済みライセンス数を比較し、ライセンス残数を確認することができます。
ライセンス部材管理台帳	ソフトウェアに関する以下のライセンス部材情報を登録・管理する台帳です。 【ライセンス情報・部材種別・ライセンスキー情報・ライセンス証書番号・メディア種別・枚数・管理部門・保管場所・管理番号など】
オリジナル台帳	管理者が自由に作成することができる台帳です。 管理する項目は、既存の台帳から選択したり、取得している資産情報から追加することができます。 また、独自の管理項目を追加したり、値を入力することもできます。
コードマスター	コードマスターを使用すると、部署情報やプロジェクト情報などのお客さま特有のマスター情報を登録／管理することができます。 コードマスターは資産管理台帳に関連付けることができ、資産情報台帳にコードマスターのデータを付加情報として表示させることができます。
リアルタイム収集	エンドユーザー端末の現在の情報を直接取得し表示します。 取得可能項目 レジストリキー/エントリーの有無・レジストリデータの値・ファイルの有無・ファイルバージョン・Windowsサービスの状態・プロセスの有無 取得対象 端末指定・IPアドレス指定コンピューター名指定・全端末
端末個別情報の表示	エンドユーザー端末の資産情報を個別で表示します。 また、マスターデータと比較することで差分を表示することができます。
新規端末登録	PalletControl Clientがインストールされていない機器(プリンター・ネットワーク機器など)を手動で登録して、台帳で管理することができます。
事前予約情報登録	端末名を管理キーに設定した場合、端末情報を事前に登録することができます。 この機能を使用すると実際の端末が接続される前に、使用者や設置場所などに端末に関連する情報を事前に登録することができます。 実際に端末が接続された際には端末名により事前情報と紐づけられます。
重複チェック	端末名や利用者名などの項目値が重複する端末を絞り込むことができます。
端末キーワード検索	検索キーワードを入力、または、取得している資産情報をキーワードとして、該当する端末を検索することができます。
円グラフ表示	資産情報の取得結果の構成比率を円グラフで表示します。
インポート・エクスポート	インポート 管理画面に表示中の台帳に情報をインポートします。 エクスポート 選択した台帳の情報をExcel形式のファイル(拡張子 .xlsx)にエクスポートします。 定期エクスポート 管理者が指定したタイミングで台帳の情報をCSV形式のファイル(拡張子 .csv)にエクスポートします。 定期インポート 管理者が指定したタイミングでCSV形式のファイル(拡張子 .csv)に保存されているコードマスター情報をインポートします。

資産管理	
台帳表示変更	<p>管理画面から台帳を閲覧・管理する際に表示を変更することができます。</p> <p>昇順/降順整列 対象の項目を昇順・降順で表示します。</p> <p>値の絞り込み 対象の項目に対して絞り込み条件を設定し、該当する端末のみ表示します。</p> <p>列の固定 対象の項目を左の列に移動し、固定して表示します。</p> <p>列の表示・非表示 対象の項目の表示・非表示を切り替えます。</p> <p>列の移動 対象項目の表示順を変更します。</p>
端末指定操作	<p>台帳から端末を指定し、以下の操作を指定することができます。</p> <p>端末情報確認 端末個別の台帳情報を参照します。</p> <p>編集/削除 台帳情報の編集、所属グループの変更、エンドユーザー端末の接続先PalletControl Serverの変更、AD連携除外設定をします。</p> <p>配布管理 エンドユーザー端末に対する配布方法や条件を設定します。</p> <p>リモート操作 エンドユーザー端末にリモート接続し操作します。</p> <p>電源操作 エンドユーザー端末の電源をONにします。(Wake On LAN有効時の機能) ※PalletControl Server(Web)または、起動中のPalletControl Clientが存在するセグメントからWake On Lanのパケット通信が実行されます。</p> <p>メッセージ エンドユーザー端末にメッセージを送信します。</p>
取得情報の項目設定	<p>端末情報・ユーザー情報の取得項目、取得タイミングを設定します。</p> <p>追加取得項目 端末情報・・・プリンタ情報、OU情報、オリジナルの情報など取得する項目を設定します。 ユーザー情報・・・アンケート情報で取得する項目を設定します。</p> <p>取得タイミング 毎回・毎日・毎週(曜日指定)・毎月(日にち指定) 時間・ログオン時などの取得タイミングを設定します。</p> <p>データ反映タイミング 取得情報の台帳反映処理を開始するタイミング(即時・時間)を設定します。</p> <p>ファイル共有サーバー連携 ファイル共有サーバー経由で資産情報の収集をすることができます。</p>

資産管理	
台帳／コードマスターメンテナンス	既存台帳／コードマスターの編集・削除、新規台帳(オリジナル台帳)／コードマスターの作成を行います。 編集は、台帳／コードマスターで管理する項目の追加や、表示順序を変更することができます。 また、台帳に独自の管理項目を追加することもできます。
オフライン端末管理	ネットワークに接続されていないオフライン端末の資産情報ファイルを取り込むことができます。
マスターデータ設定	取得している現在の資産情報をマスターデータとして3つまで保存することができます。 保存したマスターデータは、端末個別情報と比較対象として使用することができます。
管理グループ設定	資産情報を管理する際の管理グループを設定することができます。 グループの新規追加、グループ名編集、並び替え、削除、インポート、エクスポートを行うことができます。
管理キー設定	端末を管理するキーを端末ID／端末名に変更できます。 端末名を管理キーに設定した場合、同一の端末名が登録された場合に検知することができます。
ソフトウェア辞書設定	ソフトウェア辞書の新規登録・更新を行うことができます。
未登録機器管理	端末情報管理で管理されていないネットワーク機器を検出し、一覧で表示します。 検出時に特定の管理者やメールアドレスに通知をすることができます。
Active Directory連携	既存のActive Directoryと連携し、「組織単位 (OU) 」と「コンテナ」を管理グループとして使用することができます。
資産情報差分アップデート	エンドユーザー端末で取得された資産情報をPalletControl Serverにアップロードする際に変更箇所のみをアップデートします。 これによりネットワーク負荷軽減につながります。
資産情報ファイルの暗号化	エンドユーザー端末に格納されている資産情報ファイルを暗号化することができます。
台帳表示時のデータ絞り込み	資産管理台帳の表示前に情報の絞り込みを行うことができます。


配布管理	
配布設定	<p>エンドユーザー端末へ配布するソフトウェアや、配布用スクリプト、バージョンアップを設定します。 設定では、配布方法、配布対象端末、配布期間、その他オプションとして以下を指定することができます。</p> <p>配布方法の指定</p> <p>スケジュール指定配布 配布対象の端末指定、配布する期間、実行回数、実行タイミングを指定することで、自動で配布が行われます。</p> <p>インストールリスト配布 配布対象の端末指定、リストに公開する期間を指定することで、インストールリストから配布できるようにします。 インストールリストカテゴリーを作成することで、インストールリストとして設定された配布設定をカテゴリー毎に分類することが可能です。</p> <p>インストールメディア配布 配布対象の端末を指定し、メディアからインストールリスト配布できるようにするためのファイル一式を生成します。</p> <p>配布サーバーの指定</p> <p>Webサーバー配布 Webサーバーからソフトウェアなどの配布を行います。</p> <p>ファイル共有サーバー配布 ファイル共有サーバーからソフトウェアなどの配布を行います。 ファイル共有サーバー経由で配布を行う場合は、事前に配布項目をファイル共有サーバーへ転送する必要があります。 複数の配布項目を複数のファイル共有サーバーへ同時に転送することができます。</p> <p>配布対象端末の指定</p> <p>端末指定 台帳が表示されて直接端末を指定することができます。</p> <p>条件指定 台帳に含まれる資産情報の値やキーワードで絞り込んで指定することができます。</p> <p>全端末指定 全ての端末を指定することができます。</p> <p>配布期間の設定</p> <p>公開期間 配布の開始および終了年月日を指定することができます。</p> <p>実行回数 1回だけ・繰り返し(毎回・毎日・毎週・毎月)を指定することができます。</p> <p>実行タイミング ログオン時・PC起動時・シャットダウン時、または、時間、時間帯を指定することができます。</p>

配布管理	
配布設定 (つづき)	<p>その他設定</p> <p>権限代行 配布する際の権限代行アカウントの有効・無効および代行アカウントの指定ができます。</p> <p>前後処理(電源設定) 配布する前後の電源操作として、自動起動 (Wake On LAN有効時の機能)、シャットダウン、再起動を設定することができます。 ※PalletControl Server(Web)または、起動中のPalletControl Clientが存在するセグメントからWake On Lanのパケット通信が実行されます。</p> <p>負荷軽減 配布するファイルのP2P方式での配布の有効・無効を設定することができます。 また、配布するファイルのBITS(バックグラウンド インテリジェント転送サービス)の有効・無効を設定することができます。 BITSの場合は転送のタイミングとして、配布実行時に合わせるか、事前に転送するかを選択することができます。</p> <p>通知設定 エンドユーザー端末への配布予告メッセージの表示有無および何日前に表示するかを設定することができます。 配布実行時の開始、ステータス、完了メッセージの表示有無を設定することができます。</p>

配布管理	
MSセキュリティパッチ配布	WSUSと連携しMSセキュリティパッチを配布することができます。 WSUSと連携するためMSセキュリティパッチごとの詳細な設定は不要です。
クイック実行Office配布	クイック実行 Office (Office 2019/Office 365) を新規インストール/アップデートすることができます。 クイック実行 Office を配布する際には P2P 配信や BITS を使用することができます。配布の際のネットワーク帯域を抑えることができます。
複数項目配布	複数のソフトウェアを一個の配布設定で配布することができます。
配布用テンプレート	条件設定時に、設定内容をテンプレートとして登録することができます。 再度、同じ条件で配布を行いたい場合にテンプレートから選択することで簡単に設定できます。
インストールリストカテゴリー	インストールリストカテゴリーを作成することで、インストールリストとして設定された配布設定をカテゴリー毎に分類することができます。
特定製品配布	Adobe Reader など特定製品のインストールスクリプトを保守ご契約者サイトから取得し、簡単に配布設定することができます。
リアルタイム判定	配布項目ごとに配布対象端末の条件を指定することができます。条件の判定は、配布時にエンドユーザー端末の状態を参照し実施します。 条件指定項目 レジストリデータ値・レジストリエントリ有無・ファイル有無・ファイルバージョン・OSバージョン・ソフトウェアのインストール有無・プロセス有無
配布状況確認	配布設定と配布の成功、エラーの状況を一覧で表示し、設定内容の確認と削除を行うことができます。
配布進捗状況確認	全体の配布状況の棒グラフ(パーセンテージ)と配布対象の一覧を表示します。 配布状況は、成功・エラー・対象外・実施中・未実施などのステータスで確認することができます。 配布対象の一覧からは、ステータス別での絞り込み、端末個別情報の表示、エラー内容の確認、エラー時の再配布ができます。
エラーメッセージ表示	配布進捗状況の確認画面で、発生したエラー内容を管理画面上からエンドユーザー端末ごとに表示します。
再配布	配布進捗状況を確認し、再配布の設定を行います。ステータスがエラーの端末を絞り込んで、再配布することができます。
配布結果エクスポート	配布結果をExcel形式のファイル(拡張子 .xlsx)にエクスポートします。
ライセンス違反警告	配布設定時に登録されたソフトウェアのライセンス情報から、ライセンス数不足やライセンス期限の警告メッセージを表示します。
インストールリスト	実行可能な配布設定を一覧で表示します。(エンドユーザー端末で表示)
アンケート	アンケート形式で設問を自由に作成し、エンドユーザーからの情報を収集することができます。
端末の環境管理	PC環境設定 PC 環境を変更するための設定を行い、配布することができます。 システム設定・・・コンピューター名、ドメイン/ワークグループ ネットワーク設定・・・IPアドレス(固定IP/DHCP)、DNS、WINS、LMHOSTSの参照、NetBIOS プリンター設定 プリンターの設定を行い、配布することができます。 プリンターの追加/削除 プリンタードライバーのインストール/削除 プリンターポートの登録/削除 エンドユーザー端末が接続されているネットワークを自動で判別し、インストール可能なプリンターのみをインストール対象にすることができます。

ユーザーサポート	
リモート接続	管理者端末からエンドユーザー端末へIPアドレス、または、コンピューター名を指定して接続します。 10台まで同時に接続することができます。
リモート接続設定	リモート接続する際の接続・転送オプションを設定します。 接続設定 ウィンドウサイズ フルスクリーン・100%・50%・25% リトライ情報 回数・間隔 操作モード 操作する・操作しない エンドユーザーによる接続許可 許可を必要とする・許可を必要としない 転送設定 表示イメージ 表示色・壁紙表示設定 転送方式 低速回線接続
「Ctrl」+「Alt」+「Del」送信	ログオン操作が必要な場合、「Ctrl」+「Alt」+「Del」の送信を行うことができます。 (グループポリシーの設定により正しく動作しない場合があります。)
チャット	リモート接続中にエンドユーザーとのチャットによりコミュニケーションを行うことができます。
メッセージ送信	エンドユーザー端末でメッセージを表示させることができます。 送信対象 端末指定・IPアドレス・コンピューター名指定・全端末 送信タイミング 即時・時間指定・期間指定・毎日繰り返し・毎週繰り返し・毎月繰り返し
PC稼働状況管理	エンドユーザー端末のPC起動イベント、停止イベントを取得し、PCが稼働した時間をレポート表示することができます。 取得設定 日付変更時刻 レポート表示の際に、1日の区切りとしたい時刻を指定することができます。 データ保存期間 PCの稼働状況データを保存しておく期間を指定することができます。 同期時刻設定 タイムサーバーを指定することで、エンドユーザー端末のシステム時計を同期させることができます。 定期エクスポート PC稼働状況データを定期的に変換してエクスポートすることができます。

ユーザーサポート	
勤務状況管理	<p>エンドユーザー端末において、メンバーの勤務状況(勤務、休暇)や、勤務場所(自宅、会社、その他)を検索することができます。日時レポート/月次レポートでは、メンバーの出退勤情報、PC使用時間、休憩時間、外出時間を閲覧することが可能となり、出退勤情報とPC使用時間に乖離がある場合は、アラートとしてレポート表示されます。</p> <p>取得設定</p> <p>日付変更時刻(PC稼働状況と共通設定)</p> <p>レポート表示の際に、1日の区切りとしたい時刻を指定することができます。</p> <p>データ保存期間(PC稼働状況と共通設定)</p> <p>PCの稼働状況データを保存しておく期間を指定することができます。</p> <p>同期時刻設定(PC稼働状況と共通設定)</p> <p>タイムサーバーを指定することで、エンドユーザー端末のシステム時計を同期させることができます。</p>

セキュリティ機能	
デバイス制御	<p>CD/DVDドライブやリムーバブルディスクの使用を制限することができます。</p> <p>対象デバイス CDおよびDVD・フロッピーディスク・WPDデバイス・リムーバブルディスク</p> <p>制限の種類 使用禁止・読み取り専用</p> <p>リムーバブルディスクは個体を識別して制限をすることができます。</p>
持ち出しログ取得	<p>リムーバブルディスクなどのデバイスへのファイルの書き出し時に情報をログとして記録することができます。</p> <p>対象デバイス リムーバブルディスク・CD/DVD・プリンター・ポータブルHDD</p>
セキュリティ設定の確認と統一	<p>エンドユーザー端末のセキュリティに関する設定を取得し、規定値との比較をすることができます。 また、エンドユーザー端末の設定値が規定値と異なっている場合に統一することもできます。</p> <p>規定値との比較対象の内容 インターネットオプション（セキュリティ・プライバシー接続・詳細設定）・Internet Explorer セーフティ</p> <p>規定値との比較タイミング 毎日・毎週・毎月</p> <p>比較結果の履歴の出力先 出力先フォルダー・ファイル名</p>
ソフトウェアの実行抑止	<p>エンドユーザー端末で特定のソフトウェアの実行を抑止することができます。</p> <p>ソフトウェアの識別方法 ファイル名・ハッシュ値</p>
ローカルユーザー設定	<p>ローカルユーザーアカウントの追加、編集、削除を行うことができます。エンドユーザー端末への反映は配布機能を使用して行います。</p> <p>設定の種類 追加・編集・削除</p> <p>設定項目 ユーザー名・パスワード・フルネーム・所属グループ</p>
 セキュリティチェック	<p>各セキュリティチェック項目ごとにポリシーを設定し、ポリシーに遵守しているか否かを確認することができます。</p> <p>設定項目 パスワードポリシーチェック、セキュリティソフト導入チェック、スクリーンセーバーチェック、USB リムーバブルディスクポリシーチェック ウイルス対策製品パターンファイル更新日付チェック、セキュリティパッチ適用チェック</p> <p>レポート機能 各チェック項目ごとの結果を一覧表示することができます。「○」：遵守、「×」：未遵守、「-」：対象外</p>

PLS管理	
Startup Assistantの起動	PALLET CONTROL Ver. 6.3のStartup Assistantを起動することができます。 Startup Assistantを使用すると、PALLET CONTROL Ver. 6.3のスタートアップ処理をカスタマイズし、エンドユーザー端末がログオンした際に実行される配布用のスクリプト（PLS ファイル）を設定することができます。
PADCの起動	PALLET CONTROL Ver. 6.3のPADC を起動することができます。 PADCを使用すると、一台または複数台のサーバーへのファイルの転送、およびサーバー上のファイル削除を行うことができ、PALLET CONTROL Ver. 6.3で使用する配布用のスクリプト（PLS ファイル）や配布対象のモジュールをPALLET CONTROL サーバーに転送することができます。
ARMS設定の起動	PALLET CONTROL Ver. 6.3のARMS設定を起動することができます。 ARMS（ネットワークドライブ自動接続機能）を使用すると、エンドユーザー端末でスタートアップなどの必要なタイミングで、PALLET CONTROL サーバーへのネットワークドライブ割り当てを自動で行うことができます。ARMS設定ではARMSの動作の設定を行うことができます。
管理用のマクロインストーラー起動	PALLET CONTROL Ver. 6.3の管理用のマクロインストーラーを起動することができます。 インベントリー・クリーンアップ インベントリー・クリーンアップを使用すると、PALLET CONTROL Ver. 6.3のPALLET CONTROL サーバーに格納されているインベントリーファイル（catalog.ini）の内容をチェックし、重複しているものを検出／削除して資産情報を整理することができます。 スクリプトの暗号化と復元 スクリプトの暗号化と復元機能を使用すると、PALLET CONTROL Ver. 6.3の配布用のスクリプト（PLS ファイル）を暗号化することができます。PLS ファイルの内容をエンドユーザーに開示したくない場合などに使用できます。 ローカルファイル転送 ローカルファイル転送を使用すると、ローカルディスク上のPALLET CONTROL Ver. 6.3の配布用のスクリプト（PLSファイル）や配布用のモジュールを、複数台のPALLET CONTROL Ver. 6.3のPALLET CONTROL サーバーに転送することができます。
PALLET CONTROL Ver. 6.3のPALLETCONTROLサーバーの環境設定	PALLET CONTROL Ver. 6.3 の PALLET CONTROLサーバーをPalletControl Serverに認識させるための設定を行います。

全般	
ログイン認証	ログイン認証として、ユーザーIDとパスワード、接続先サーバーを指定することで、管理者機能の使用を制限します。
ユーザーID設定	管理画面よりログイン可能なユーザーIDとパスワード、ユーザーIDを使用する人の名前を登録します。
PalletControl インストーラー作成	エンドユーザー端末へPalletControl Clientを管理者権限を代行してインストールする インストーラーを作成します。
アンインストールパスワード設定	エンドユーザー端末よりPalletControl Clientをアンインストールする際のパスワードを設定し、エンドユーザーによる不正なアンインストールを防止します。
操作ログ閲覧	管理ツールの操作ログを一覧で閲覧することができます。
通信間隔の設定	エンドユーザー端末からPalletControl Server(Web) への通信間隔を設定します。 通信間隔はPalletControl Server(Web) ごとに設定することができます。
デジタル署名確認の設定	資産情報を取得する際に使用されるスクリプトファイル（資産情報取得用スクリプト）や配布管理で使用されるスクリプトファイル（配布用スクリプト）にデジタル署名がされているかどうかを自動で確認することができます。
スクリプトのデジタル署名	Windows PowerShell スクリプトの実行ポリシーを、デジタル署名がされていないスクリプトの実行を禁止する設定（AllSigned）にした環境でPalletControl を利用するための機能です。 Windows PowerShell スクリプトにデジタル署名をすることにより、スクリプトが改ざんされていないことの確認を行うことができます。 デジタル署名確認の設定 資産情報を取得する際に使用されるスクリプトファイル（資産情報取得用スクリプト）や配布管理で使用されるスクリプトファイル（配布用スクリプト）にデジタル署名がされているかどうかを自動で確認することができます。 スクリプト署名ツール Windows PowerShell スクリプトに対して指定した証明書で署名を行うことができます。 スクリプト証明書作成ツール 自己証明書の発行と、作成した証明書のインポート・Windows PowerShell 実行ポリシーの変更を行うための配布項目を作成することができます。
時刻同期サーバー設定	時刻同期サーバーを指定し、PalletControl Client、Managerのシステム時刻を同期させる設定をします。
接続先サーバー自動切り換え設定	接続元のPalletControl Client、Managerのネットワークアドレスをもとに、接続先のPalletControl Server(Web)を自動的に切り換える設定をします。